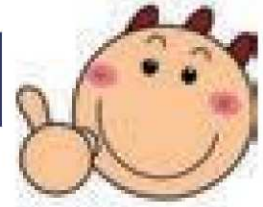


第2章 計画策定の背景

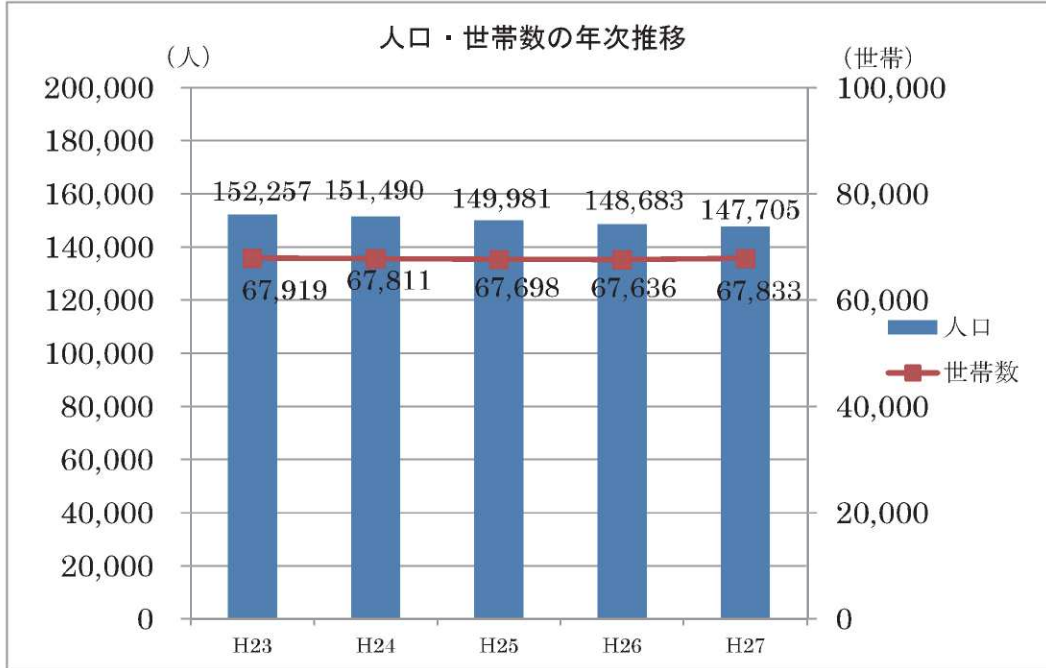


1 周南市の現状

(1)人口統計

1)人口・世帯数の年次推移

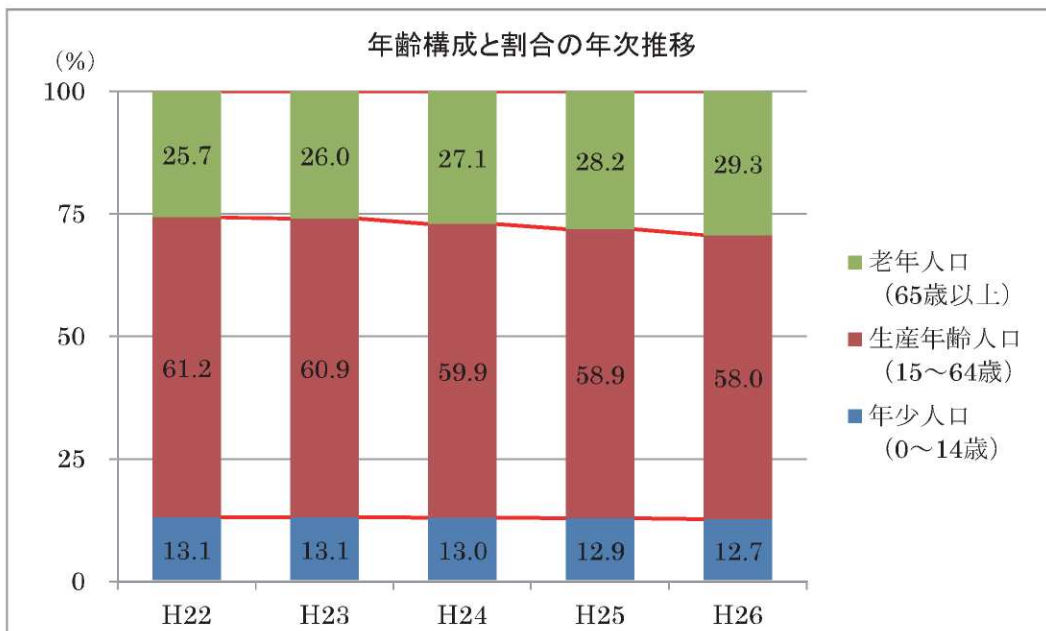
周南市の人口は年々減少していますが、世帯数はほぼ横ばいです。



資料: H27 周南市基礎データ

2)年齢構成と割合

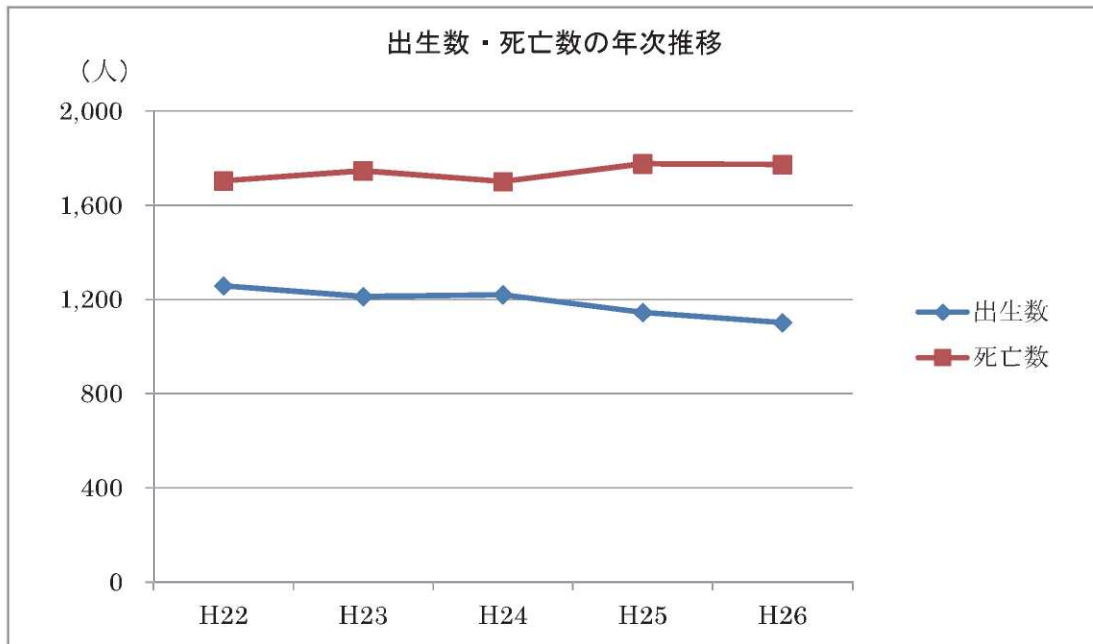
年齢構成は、15歳未満と15歳～64歳の人口が年々減少し、65歳以上の人口は増加しており、少子高齢化の傾向が顕著となっています。



資料: H27 周南市基礎データ

3) 出生数・死亡数の年次推移

出生数は、最近2年間は、1,100人程度で推移しており、減少傾向ですが、死亡数は、増加傾向にあり自然減の状態が続いており、その差はさらに広がる傾向にあります。



資料: H27 周南市基礎データ

(2) 死亡の状況

1) 死因別死亡率の年次推移

周南市の死因別死亡割合をみると、悪性新生物が最も高く、次いで、心疾患となっており、この2つの疾患が、死亡の約5割を占めています。

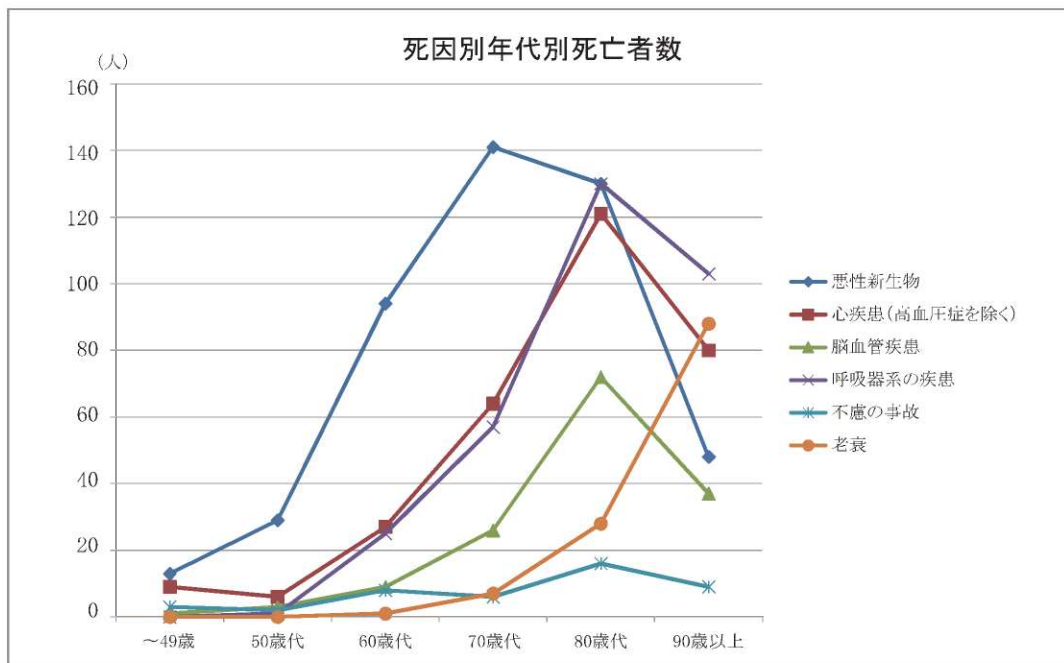
	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	死因	死亡数(人) 死亡率 (割合・%)	死因	死亡数(人) 死亡率 (割合・%)	死因	死亡数(人) 死亡率 (割合・%)	死因	死亡数(人) 死亡率 (割合・%)
総数		1,704 1,143.6 (-)		1,747 1,173.0 (-)		1,701 1,148.6 (-)		1,800 1,225.1 (-)
第1位	悪性新生物	489 328.2 (28.7)	悪性新生物	485 325.7 (27.8)	悪性新生物	454 306.6 (26.7)	悪性新生物	455 309.7 (25.3)
第2位	心疾患	241 161.7 (14.1)	心疾患	279 187.3 (16.0)	心疾患	276 186.4 (16.2)	心疾患	317 215.8 (17.6)
第3位	肺炎	195 130.9 (11.4)	肺炎	203 136.3 (11.6)	肺炎	203 137.1 (11.9)	肺炎	202 137.5 (11.2)
第4位	脳血管疾患	191 128.2 (11.2)	脳血管疾患	184 123.5 (10.5)	脳血管疾患	151 102.0 (8.9)	脳血管疾患	148 100.7 (8.2)
第5位	不慮の事故	58 38.9 (3.4)	老衰	68 45.7 (3.9)	老衰	99 66.9 (5.8)	老衰	122 83.0 (6.8)

死亡率: 人口10万対死亡数

資料: 周南市保健事業の概要

2) 死因別年代別死亡数

周南市の死因別年代別死亡数は、50歳代以降が増加しています。



資料:H25 山口県保健統計年報

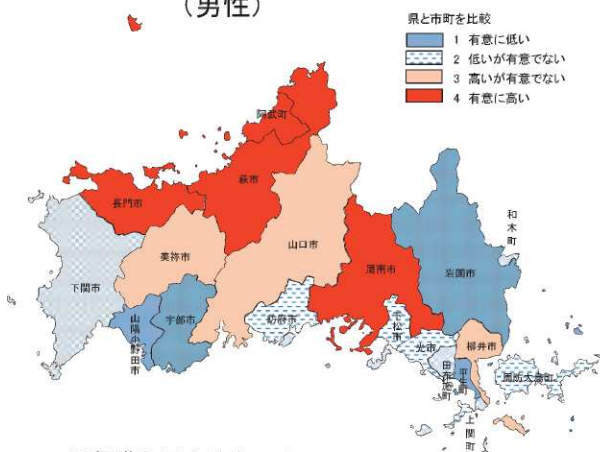
3) 標準化死亡比

「脳血管疾患」の標準化死亡比[※]が高く、特に男性が高くなっています。また「糖尿病」の標準化死亡比が高くなっています。

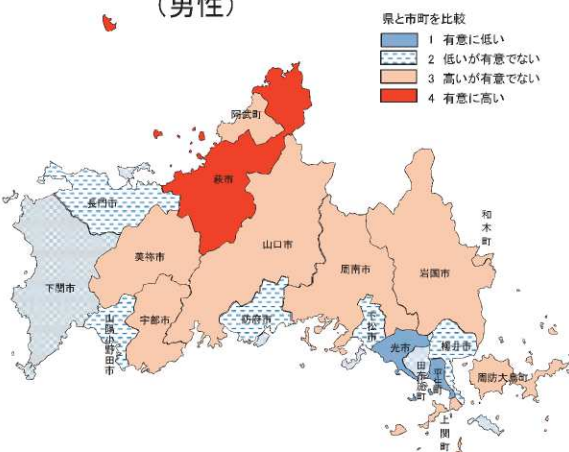
	男	女	計	傾向
脳血管疾患	114.7	101.7	108.1	男性:有意に高い
糖尿病	111.7	111.0	111.8	高いが有意ではない

資料:H26 やまぐち健康マップ

脳血管疾患 標準化死亡比のマップ (男性)



糖尿病 標準化死亡比のマップ (男性)



※標準化死亡比(SMR)

年齢構成の異なる地域間で死亡状況を比較するために用いる指標で、年齢構成の差異を基準の死亡率で調整した死亡数に対する現実の死亡数の比

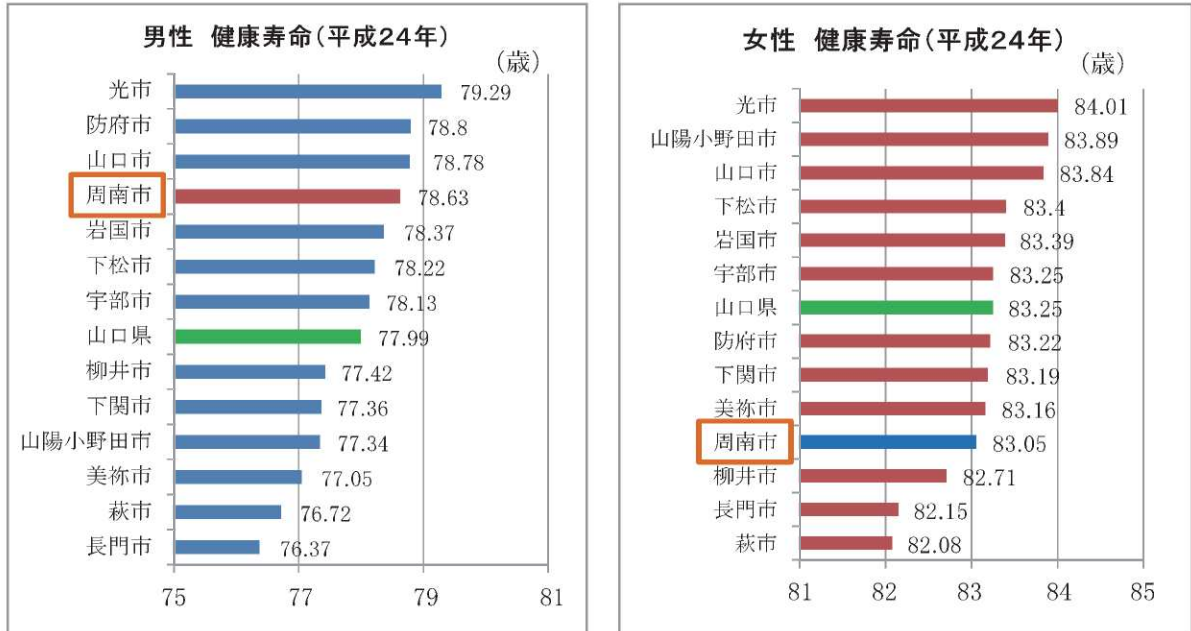
基準にしている山口県がSMR=100となり、SMR=110とは、山口県全体(100)に比べて1.1倍死亡率が高いことを表している。

資料:H26 やまぐち健康マップ

(3) 健康寿命

男性は山口県内 13 市中、第 4 位となっており、県の平均 77.99 歳よりも長くなっています。しかし、女性は山口県内 13 市中、第 10 位となっており、県の平均 83.25 歳よりも短くなっています。

健康寿命とは、日常生活動作が自立している期間の平均を示し、県内各市を比較するために、介護保険の要介護度 2～5 を不健康（要介護）状態、それ以外を健康（自立）な状態として算出したものです。

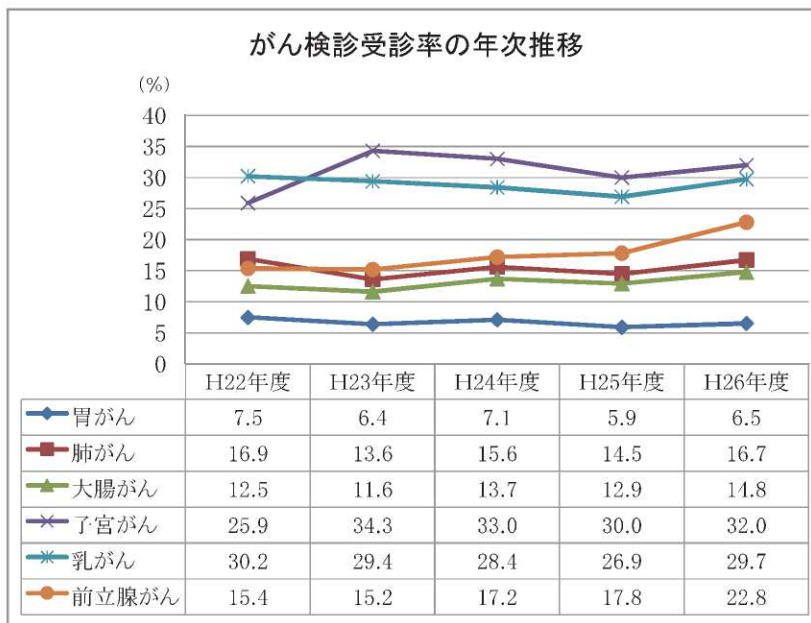


資料: H26 やまぐち健康マップ

(4) がん検診・特定健康診査等の状況

1) がん検診受診状況と結果

がん検診の受診率は、平成 22 年度と平成 26 年度を比較すると、大腸がんは 2.3%、子宮がん 6.1%、前立腺がん 7.4% 増加しています。胃がん、肺がん、乳がん検診については、ほぼ横ばいです。肺がん、大腸がん検診の受診率は、県の平均よりは上回りますが、全国の平均よりは下回っています。



全国、山口県がん検診、周南市
がん検診受診率(H24年度)
(%)

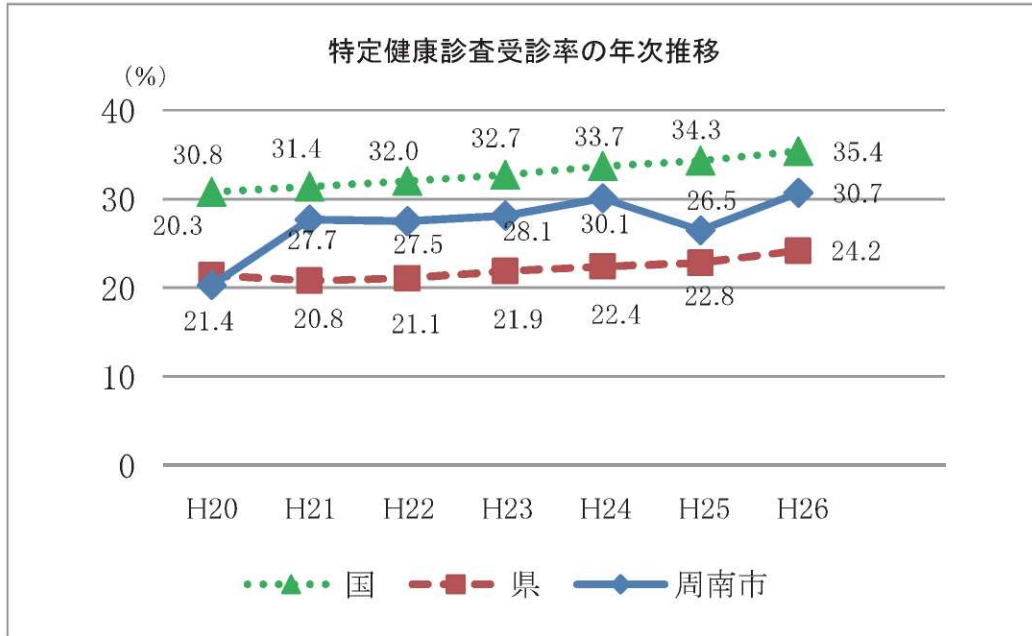
検診名	国	県	市
胃がん	5.6	5.3	7.1
肺がん	17.3	14.9	15.6
大腸がん	18.7	13.3	13.7
子宮がん	23.5	21.2	33.0
乳がん	17.4	17.6	28.4

資料: 山口県がん検診実施状況

2) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

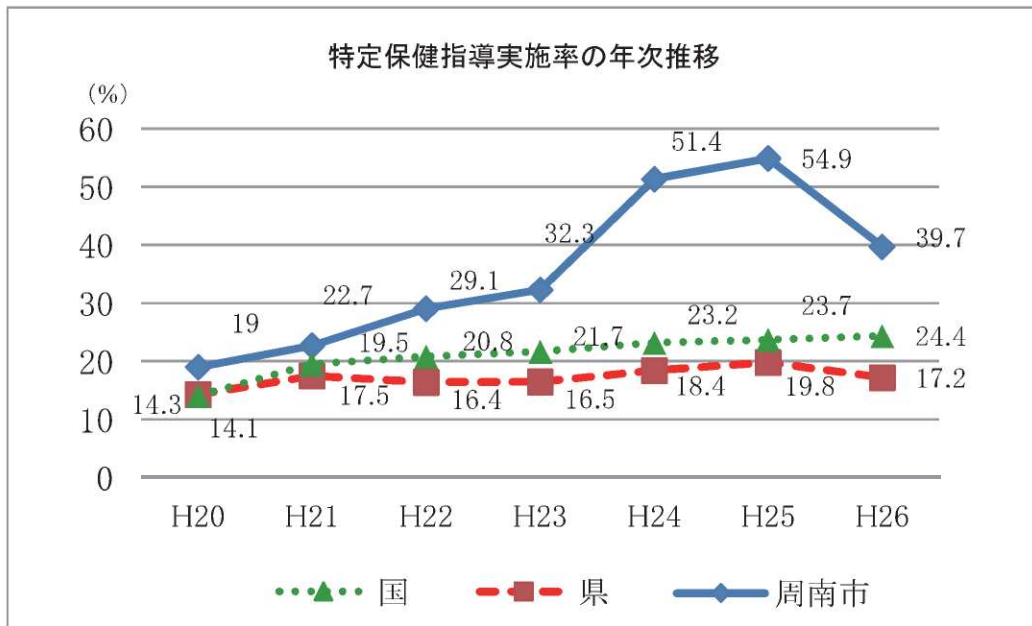
特定健康診査については、平成20年度から医療保険者が実施しており、周南市においても国民健康保険被保険者を対象に実施しています。

がん検診と特定健康診査については、受診券を一体型にし、いずれも同日同会場で集団健診を実施するなど市民が受診しやすい環境づくりに努めた結果、受診率は、平成20年度の制度開始当初と比べると平成26年度は30.7%と10.4%増加しています。全国の受診率には及びませんが、県の受診率よりは上回っています。



資料：特定健康診査・特定保健指導実施結果報告

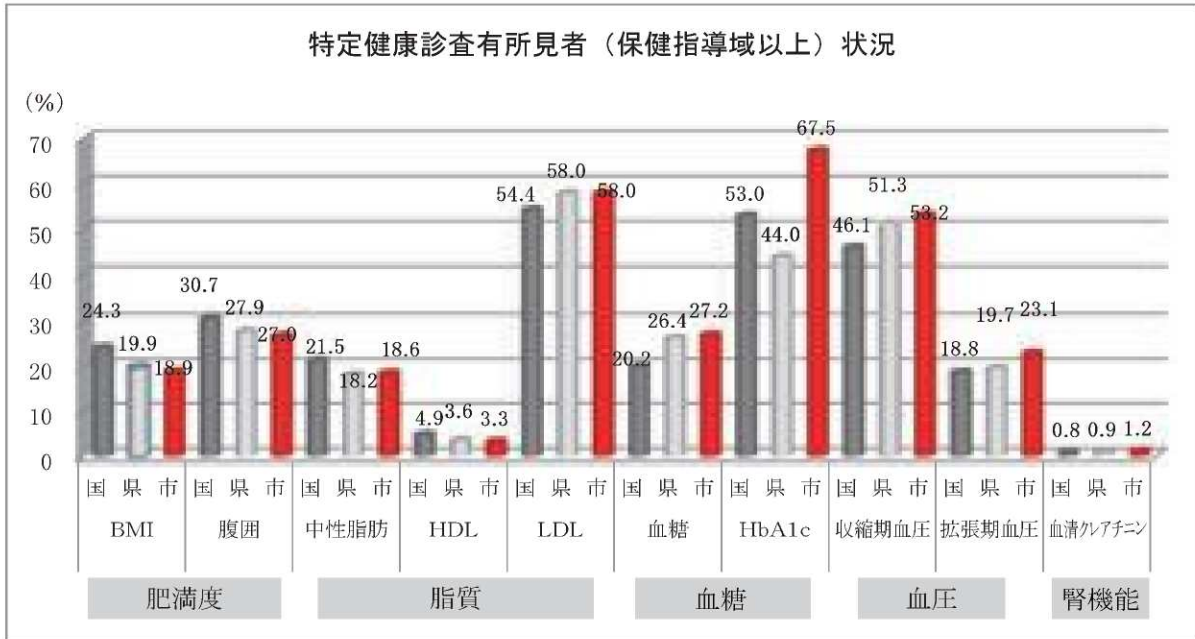
特定保健指導の実施率は、医療機関への委託や市の保健師や管理栄養士による個別訪問等により増加しており、全国や県の平均値を大きく上回っています。



資料：特定健康診査・特定保健指導実施結果報告

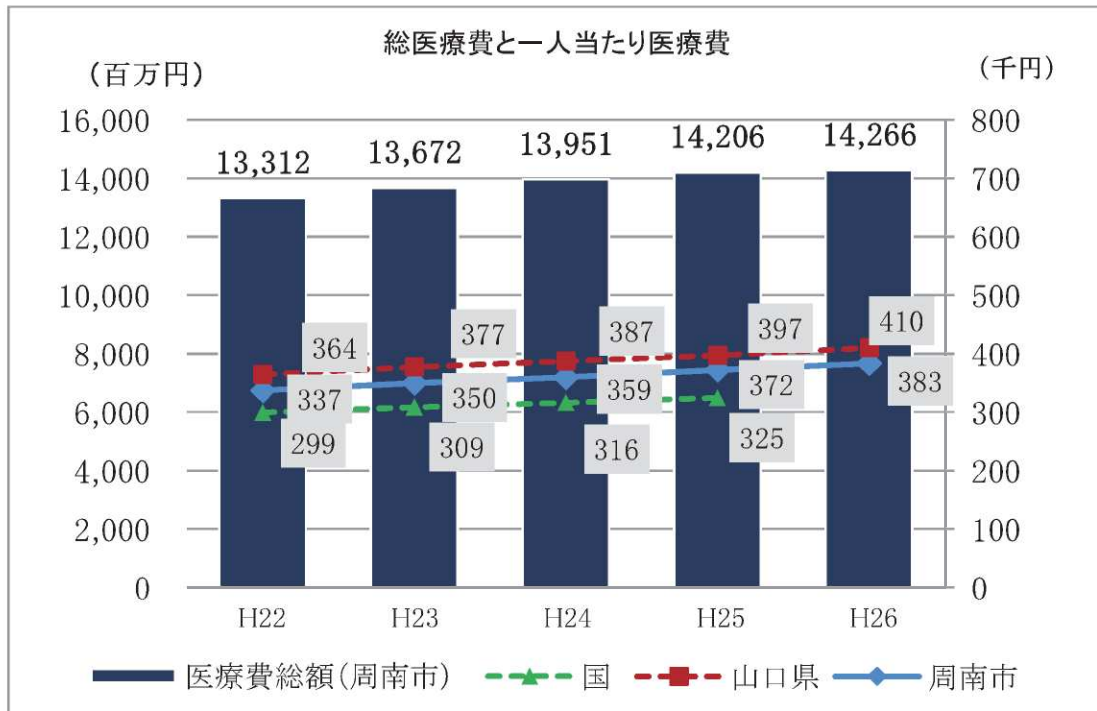
3) 周南市国民健康保険特定健康診査の結果（H26年度）

特定健康診査結果をみると、本市はBMI、腹囲、HDLの値は全国・県より有所見者割合が低く、血糖、HbA1c（糖尿病検査）、収縮期血圧、拡張期血圧の値は全国・県よりも有所見者割合が高い状況です。

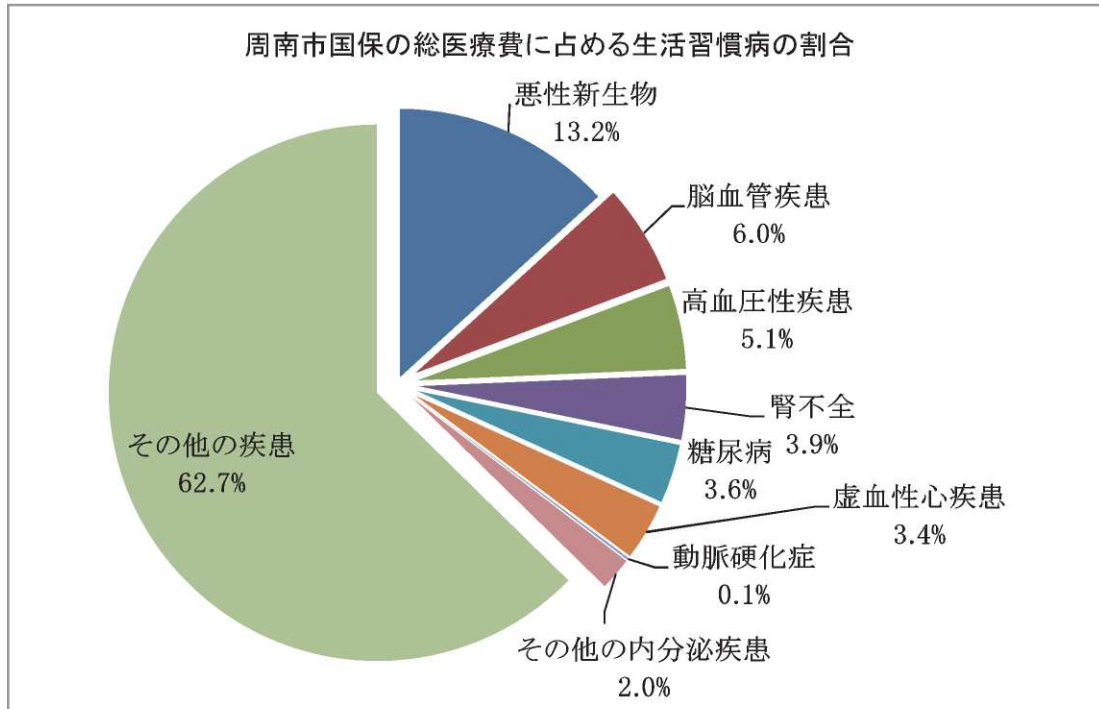


(5) 国民健康保険の医療費の現状

1) 医療費は年々増加し、平成26年度は約142億円で、近年5年間で9億5千万円増加しています。また一人当たり医療費は約38万円で、県平均よりは低い状況です。



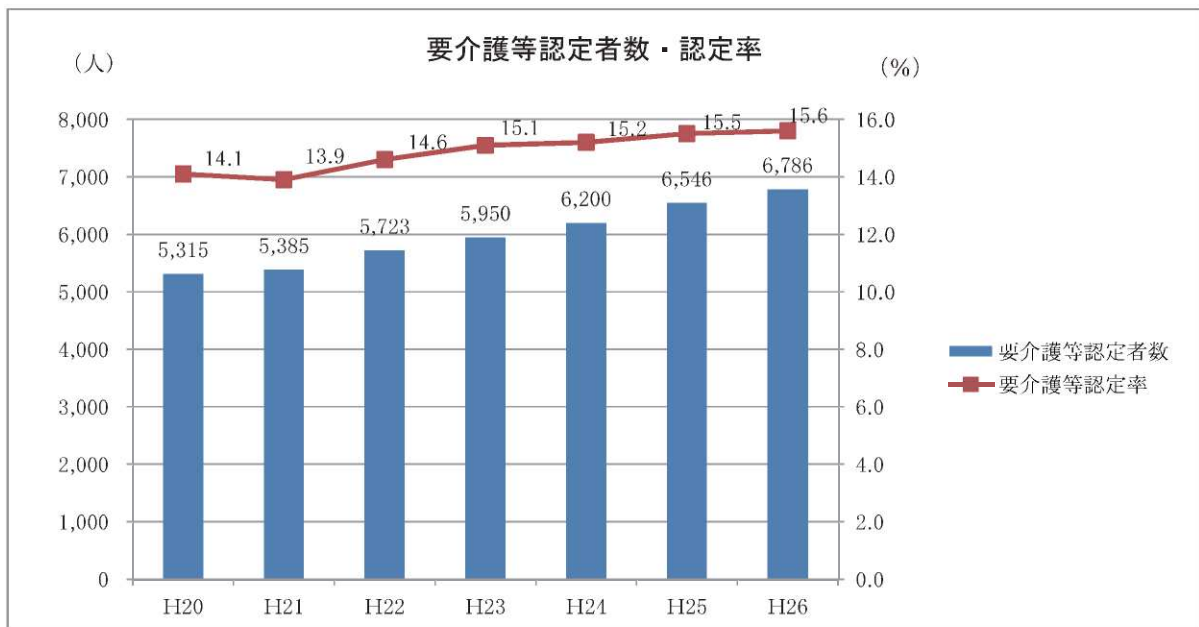
2) 医療費に占める 悪性新生物、脳血管疾患、高血圧性疾患、糖尿病などの生活習慣病の割合が、市は 37.3%、県は 37.6% となっています。



H27年5月診療分
資料: 疾病分類別統計表
(山口県国民健康保険団体連合会)

(6) 介護保険の認定状況

要介護等認定者数は増加傾向、要介護等認定率（高齢者人口に占める 65 歳以上の要介護認定者数の割合）についても同様の傾向にあり、平成 26 年度では、15.6% となっており、65 歳以上の 6 人に 1 人が介護の必要な状況です。



各年度とも9月30日時点
資料: 周南市介護保険事業報告

2 周南市健康づくり計画(H 23年度～H 27年度) の評価

周南市健康づくり計画 ～のびのび はつらつ いきいき周南 21～(H 23年度～ H 27年度) について、策定時(H 23年度) と最終評価(H 27年度) で比較した評価結果をみると、6分野 30項目中、目標達成と改善を合せて 14項目(46.7%) の項目に成果が見られましたが、11項目(36.6%) が変化なしとなっており、5項目(16.7%) が悪化となっています。

全30項目のうち、「◎目標達成」は 8項目(26.7%) で、「こころの元気と休養」、「健康管理」、「歯」の分野が多く、「○改善」は6項目で「健康管理」、「たばこ」の分野が多くなっています。

【分野別 目標達成状況(項目数)】

分野		◎目標達成		○改善		△ほぼ変化なし		×悪化	
1	こころの元気と休養	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%
2	健康管理	2	28.6%	2	28.6%	3	42.8%	0	0.0%
3	食生活・栄養	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%	1	20.0%
4	歯	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%
5	たばこ	0	0.0%	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%
6	身体活動・運動	1	25.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	25.0%
合計		8	26.7%	6	20.0%	11	36.6%	5	16.7%

■評価基準

本計画推進期間中に、国が「健康日本21(第二次)」を、山口県が「健康やまぐち21計画(第2次)」を策定し国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的方針が見直され、目標値の位置づけも一部変更になりました。

そこで、本計画でも国・県の第2次計画を踏まえて、平成25年度に中間評価を行うとともに、健康実態を評価するために、一部の項目を追加及び変更しました。

◎	目標達成	目標値に達成している
○	改善(+3以下)	目標値に達していないが、改善したといえる
△	ほぼ変化なし(±3未満)	目標値に対し、ほぼ変化がない
×	悪化(-3以下)	目標値に対し、悪化したといえる

(策定時と最終年の比較)

※次ページ以降、目標毎に策定時、中間評価、最終評価の達成数値を表示します。

評価は、◎目標達成 ○改善 △ほぼ変化なし ×悪化で表示します。

★印は平成25年度に実施した中間評価において、新たに追加した評価項目です。

(1) こころの元気と休養

笑顔をもらい笑顔をあげよう！

～今日あなたは笑いましたか？～

1) 重点目標

- ①毎日ぐっすりーぶ（Good Sleep）！
- ②自殺ゼロをめざそう！
- ③孤独にしない、孤独にならないあったか子育て

2) 主な取組

- 働く世代に対して、こころの健康づくりに関する講演会や街頭キャンペーン「ちゃんと眠れちよる？」を実施した。
- ゲートキーパー[※]養成講座を実施し、自殺を防ぐための人材育成を行った。
- 出前講座（こころの元気・睡眠）において、睡眠の大切さやうつ状態の早期発見の知識の普及啓発を行った。
- 困りごと相談窓口のリーフレット作成・配布を行った。
- 産後の母親のメンタルヘルス支援として、産婦訪問時にエジンバラ産後うつ質問票を活用し、ハイリスク者の把握を行い、支援が必要な産婦に心理士による「産後のこころの相談会」を実施した。

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと

3) 項目の達成状況

評価項目	策定時	中間評価	最終評価	達成目標	出典		
睡眠による休養が十分取れている人の割合の増加	78.4%	77.6% △	77.0% △	80%	周南市国保特定健康診査結果（平成26年度）		
★自殺死亡率の減少（人口10万対）	28.1%	24.2% ○	15.4% ◎	20%	内閣府 地域における自殺の基礎資料（平成26年度）		
★こころの健康に関する講座やイベントの参加者の増加	1,024人	累計 3,599人 (H22年度～ 24年度)	○	累計 5,725人 (H22年度～ 26年度)	◎	累計 5,000人	周南市保健事業の概要（平成26年度）
育児ストレスを強く感じている母親の割合の減少	10.6%	10.7% △	14.0% ×	10%	1歳6か月児健康診査票データ（平成26年度）		
★乳児（3か月）健診で「育児が楽しい」と感じる人の割合の増加	90.1%	88.1% △	88.5% △	100%	3か月児健康診査票データ（平成26年度）		

評価結果

- 睡眠による休養が十分取れている人の割合は、やや減少し、目標を達成していない。
- 自殺による死亡率は、策定当初より約13%減少しており、目標を達成した。
- こころの健康に関する講座やイベントの参加者数は、目標を達成した。
- 育児ストレスを強く感じている母親の割合が増加し、目標を達成していない。
- 乳児（3か月）健診で、「育児が楽しい」と感じている人の割合は、多少の改善はみられるものの、ほぼ横ばいであり、目標を達成していない。

(2) 健康管理

体の状態を知り、元気に過ごそう！

～向き合おう 自分の体 自分の生活～

1) 重点目標

- ①糖尿病を予防しよう
- ②がんを予防しよう(重点：子宮がん・乳がん)

2) 主な取組

- 受診率向上の目的で、がん検診と特定健診の受診券一体化、セット検診の実施、けんしんガイドの作成を行った。
- 特定健康診査受診率向上やメタボリックシンドロームの予防をめざして、周南市オリジナル体操「お腹ぺったんこ体操」を制作し、出前講座、市ホームページ、You Tube 等で周知した。
- 生活習慣病予防、健康寿命の延伸の取り組みとして、協賛事業者を募集し、「しゅうなんスマートライフチャレンジ※」で8つのチャレンジを実施した。
- がん検診の受診率向上をめざして、デビュー友検診を実施し、受診したことの無い人の受診勧奨を行うとともに、がん検診 PR の番組を制作し、ケーブルテレビで放映した。

※しゅうなんスマートライフチャレンジ：市民が自発的かつ積極的に健康の維持増進に取り組めることを目的とし、地域・企業・関係団体等と連携して進める健康づくりチャレンジ。

(8つのチャレンジ:こどもあさごはん ちゃれんじ、サンサンチャレンジ、禁煙チャレンジ、チャレンジウォーキング、お腹ぺったんこチャレンジ、いきいき100歳チャレンジ、歩こう！階段チャレンジ、デビュー友検診) (P21 参照)

3) 項目の達成状況

評価項目	策定時	中間評価		最終評価		達成目標	出典
特定健康診査を受ける人の割合の増加(受診率)	27.5%	30.1%	○	30.7%	○	65%	周南市国保特定健康診査結果(平成26年度)
★特定保健指導を受ける人の割合の増加(実施率)	29.1%	51.4%	◎	39.7%	○	50%	周南市国保特定健康診査結果(平成26年度)
★メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(前年度との比較)	22.5%	23.3%	○	23.1%	△	25%	周南市国保特定健康診査結果(平成26年度)
★しゅうなんサンサンチャレンジの参加者の増加	実施なし	117人	-	203人	◎	200人	平成27年度参加実績
子宮がん検診を受ける人の割合の増加(受診率)	30.4%	33.0%	○	32.0%	△	36%	周南市保健事業の概要(平成26年度)
乳がん検診を受ける人の割合の増加(受診率)	23.5%	28.4%	○	29.7%	◎	29%	
★大腸がん検診を受ける人の割合の増加(受診率)	16.1%	13.7%	×	14.8%	△	16.1%	

評価結果

- 特定健康診査受診者数は年々増加しているが、目標を達成していない。
- 特定保健指導の実施率は、改善はしたが、目標を達成していない。
- メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率は、目標を達成していない。
- メタボリックシンドローム改善に向けて、減量を目的とした「しゅうなんサンサンチャレンジ」を開始し、目標を達成した。
- 子宮がん検診の受診率は増加したが、目標を達していない。
- 乳がん検診の受診率は、目標を達成した。
- 大腸がん検診の受診率は、目標を達成していない。

階段チャレンジのポスター



こども あさごはんちゃれんじ 園での健康教育の様子



(3) 食生活・栄養

食は命 みんなで広げよう食の「わ」！

～しゅうなん食の「わ」プランの推進～

1) 重点目標

- ①「和」日本食のよさを見直すことで豊かな食を目指す
- ②「話」話すこと、伝えあうことで楽しい食を目指す
- ③「輪」互いが手をつなぐことで広がる食を目指す
- ④「環」めぐることによって優しい食を目指す
- ⑤「吾」知ること、自分から変わることによって賢い食を目指す

平成 26 年度から「第 2 次周南市食育推進計画」に基づき、以下の目標に変更した。

3つの食のカづくり

- ①「楽しむカづくり」：食や食の営みそのものを楽しむ。
- ②「元気のカづくり」：食で心身の健康づくりを行う。
- ③「つながるカづくり」：食を通じて、人や文化や心の交流を図る。

2) 主な取組

- 子どもとその親世代に対する取り組みとして、「楽しく食べる子ども育成プログラム」を保育所・幼稚園、生産者、漁業協同組合、食生活改善推進員等と協働で実施した。
- 三色食品群がそろった朝食を摂取することを目的とした「こども あさごはん ちゃれんじ」を保育所等の年長児を対象に実施した。
- 食生活改善推進員が地域の公民館等で、「男性料理教室」を実施した。
- 企業、食生活改善推進員と協働で働き盛りの男性を対象とした「青年期向けセミナー」「壮年期向けセミナー」を実施した。
- 食生活改善推進員が地域で「健康料理教室」や「子供料理教室」「介護予防教室」「生活習慣病予防教室」等を実施し、地産地消の推進や食生活改善活動に取り組んだ。
- 食育推進協賛事業者と協働で「食育の日」の周知を行った。
- 小・中学生を対象に「野菜メニューコンクール」など食育推進を図った。

3) 項目の達成状況

評価項目	策定時	中間評価		最終評価		達成目標	出典
食事の時にあいさつをする子どもの割合の増加	68.3%	71.0%	△	71.0%	△	100%	第2次周南市食育推進計画に関するアンケート調査（中間評価、最終共に平成25年度）
家族や仲間と楽しく食事をする人の割合の増加	77.1%	83.5%	○	83.5%	○	90%以上	第2次周南市食育推進計画に関するアンケート調査（中間評価、最終共に平成25年度）
出前講座の実施回数の増加	0回	累計83回 (H23年度～24年、1年度あたり約41回)	◎	累計171回 (H23～26年度、1年度あたり約43回)	◎	累計100回 (1年度あたり20回)	出前講座実績報告（平成23～26年度）
朝食を食べる人の割合の増加	92.4%	89.3%	×	89.3%	×	96%以上	第2次周南市食育推進計画に関するアンケート調査（中間評価、最終共に平成25年度）
毎食野菜を食べる人の割合の増加	66.2%	67.1%	△	67.1%	△	80%以上	第2次周南市食育推進計画に関するアンケート調査（中間評価、最終共に平成25年度）
評価結果							
<ul style="list-style-type: none"> ●食事のときにあいさつする子どもの割合は、ほぼ横ばいであり、目標を達成していない。 ●家族や仲間と楽しく食事（共食）をする人は、増加しているが、目標を達成していない。 ●出前講座については、目標値を大きく上回っており目標を達成した。 ●朝食を食べる人の割合は、目標を達成していない。 ●毎食野菜を食べる人の割合は、ほぼ横ばいであり、目標を達成していない。 							

(4) 歯 めざせ！8020！～一生自分の歯でおいしく食べよう～

1) 重点目標

- ①むし歯のない子どもを増やそう
- ②「8020」をめざし、定期的に歯科健診を受け、歯周病に罹患しないようにしよう

2) 主な取組

- 乳幼児歯科健診において、歯みがき時のフッ化物入り歯みがき剤の使用や清掃補助用具の必要性など効果的なブラッシングの方法を指導した。
- 幼稚園児の保護者等が、むし歯原因菌の感染予防や間食習慣についての正しい知識を習得し、実践するために、歯科相談や歯科健康教育を実施した。
- 児童・生徒に、適切な歯科衛生習慣を定着させるために、出前講座を実施した。
- 若い世代からの定期的な歯科検診の受診を定着させるために、「いい歯スマイル検診」を実施した。
- 保育所・幼稚園の3歳以上の幼児及び学校の児童・生徒の希望者にフッ化物洗口法実施した。

3) 項目の達成状況

評価項目		策定時	中間評価		最終評価		達成目標	出典
健診でむし歯のない子どもの割合の増加	1歳6か月児健診	96.6%	97.1%	○	97.1%	○	98%	周南市保健事業の概要 (平成26年度)
	3歳児健診	66.9%	73.9%	○	77.0%	○	80%	
★12歳児の1人平均う歯数の減少		1.0本	0.85本	○	0.63本	◎	0.70本	山口県子どもの歯科保健統計 (平成26年度)
★歯科に関する健康教育の実施回数の増加		51回	109回	○	119回	◎	115回	周南市保健事業の概要 (平成26年度)
★若い世代からの歯科検診受診者の増加 (いい歯スマイル検診受診者数)	実施なし	792人	-		720人	×	900人	
評価結果								
<ul style="list-style-type: none"> ●1歳6か月児・3歳児歯科健康診査においては、むし歯のない子どもの割合は横ばいであり、目標を達成していない。 ●12歳児の1人平均う歯数は、目標を達成した。 ●歯科衛生に関する正しい知識の普及啓発のための健康教育実施回数は、目標を達成した。 ●若い世代から口腔の健康意識を高める取り組みとして、「いい歯スマイル検診」受診者数は、目標を達成していない。 								

(5) たばこ みんなで禁煙～子どもをたばこの煙から守ろう～

1) 重点目標

- ①たばこの害を知ろう
- ②未成年者はたばこを吸わない
- ③禁煙したい人がやめるための支援を受けられるようにしよう
- ④受動喫煙防止を推進しよう

2) 主な取組

- 子どもに対し、たばこの害を正しく知るための喫煙防止・防煙教育を実施した。
- 喫煙者の割合を減らすために、「禁煙チャレンジ」を実施した。
- 妊婦及びその家族への禁煙指導・受動喫煙防止に関する保健指導を実施した。
- がんや心疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など、たばこが体に及ぼす影響について、出前講座等で啓発を行った。

3) 項目の達成状況

評価項目	策定時	中間評価		最終評価		達成目標	出典
喫煙経験のある 未成年者をなくす	小学5年生 0% 中学2年生 0%	小学5年生 0.2% 中学2年生 0.6%	×	小学5年生 0.2% 中学2年生 0.6%	×	0%	子どもの食と元気づくり事業「生活習慣調査」(中間評価、最終共に平成24年度)
子どものいるところで 喫煙している人をなくす	家族が喫煙している 小学5年生 47.1% 中学2年生 48.0%	家族が喫煙している 小学5年生 45.6% 中学2年生 43.0%	△	家族が喫煙している 小学5年生 45.6% 中学2年生 43.0%	△	0%	子どもの食と元気づくり事業「生活習慣調査」(中間評価、最終共に平成24年度)
★現在たばこを習慣的に吸っている人の割合の減少	10.3%	10.2%	△	10.2%	△	9.0%	周南市国保特定健康診査結果(平成26年度)
★妊娠中の喫煙をなくす	5.8%	4.8%	○	4.5%	△	0%	周南市妊娠届出時アンケート(平成26年度)
★喫煙防止・防煙教育の実施回数の増加	累計 14校 1,297人 [内訳] 薬剤師会 10校, 872人 健康増進課 4校, 425人	累計 39校 3,118人 (H22年度～24年度) [内訳] 薬剤師会 30校, 2,487人 健康増進課 9校, 631人	◎	累計 55校 4,263人 (H22年度～26年度) [内訳] 薬剤師会 42校 3,283人 健康増進課13校, 980人	◎	累計 50校 5,000人	薬剤師会実績 周南市保健事業の概要 (平成26年度)
評価結果							
<ul style="list-style-type: none"> ●喫煙経験のある未成年者は、小学5年生・中学2年生のいずれも数人が該当しており、目標を達成していない。 ●小学5年生・中学2年生の子どものいるところで喫煙している人の割合は、目標を達成していない。 ●現在たばこを習慣的に吸っている人の割合は、横ばいで目標達成をしていない。 ●喫煙している妊婦の割合は、減少したが目標を達成していない。 ●喫煙防止・防煙教育出前講座の実施回数は、目標を達成したが、参加者数は目標を達成していない。 							

(6) 身体活動・運動

こまめに体を動かそう！

～無理なく動こう、楽しく動こう～

1) 重点目標

- ①身体活動を増やし、活動的な毎日を送ろう
- ②運動を定期的に行おう

2) 主な取組

- 運動の効果や大切さを周知するため、「からだリセット講座」「黄金の運動ルール」や出前講座を実施した。
- 働く世代の参加者を増やすため、企業、事業所と連携し「しゅうなんチャレンジウォーキング」を実施した。
- 公共機関や企業などと連携し、運動啓発ステッカーを階段に貼る「歩こう！階段チャレンジ」を実施した。

3) 項目の達成状況

評価項目	策定時	中間評価		最終評価		達成目標	出典
家の中で遊ぶより外で遊ぶ子どもの割合の増加	小学5年生 60.9%	小学5年生 54.2%	×	小学5年生 54.2%	×	小学5年生 65.0%	周南市子どもプラン アンケート (中間評価、最終共に平成25年度)
★1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合の増加	46.2%	46.2%	△	46.7%	△	50%	周南市国保特定健康 診査結果 (平成26年度)
★日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合の増加	64.9%	66.0%	△	66.3%	△	72%	
★しゅうなんチャレンジウォーキングの参加者の増加	実施なし	312人	-	累計 1,665人	◎	累計 1,500人	周南市保健事業の 概要 (平成26年度)
評価結果							
<ul style="list-style-type: none">●家の中で遊ぶより外で遊ぶ子どもの割合は、目標を達成していない。●1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合の増加は、横ばいで目標を達成していない。●日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合の増加は、横ばいで目標を達していない。●「しゅうなんチャレンジウォーキング」の参加者数は、目標を達した。							

3 健康づくりに関する課題

周南市の現状や周南市健康づくり計画（H 23 年度～ H 27 年度）の評価内容から、健康課題をまとめると、以下の 3 点となります。

●生活習慣病の罹患率、死亡率が高い

がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病の医療費に占める割合が高く、死亡原因も生活習慣病が 5 割以上を占めていることから、生活習慣病予防と重症化予防に取り組む必要があります。

そのためには、「食生活・栄養」、「身体活動・運動」、「こころの元気と休養」、「歯」、「たばこ・飲酒」及び「健康管理」の 6 つの分野に関して、一人ひとりが意識的に生活習慣の改善に努め、がん検診や特定健康診査を受診する必要があります。

●世代やライフステージにより、健康課題が異なる

妊婦やその家族の喫煙や、働き盛り世代の心と休養の問題を踏まえた自殺者の問題、要介護認定者の増加等、各ライフステージにおける健康課題は異なることから「食生活・栄養」、「身体活動・運動」、「こころの元気と休養」、「歯」、「たばこ・飲酒」及び「健康管理」の 6 つの分野ごとに課題を抽出し、各ライフステージに応じた健康づくりに取り組む必要があります。

●地域全体で健康づくりの意識を高める必要性

市民の健康は、一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、家庭、地域、学校、職場など社会全体が健康づくりを進める意識と体制が必要です。そのために行政、企業、地域関係団体等が、共に連携し、協働しながら健康づくりを推進している「しゅうなんスマートライフチャレンジ」を更に、強化していく必要があります。

